

銀河通信

NO107
2001. 1. 10

編集 樋口みな子

新世紀に
進む

21世紀

2000. 8. 9
釧路湿原で



「世界中の女性の手もつなげば平和は守れり」と語りベアテ・シロタ・ゴードンさん 2000. 12. 1

平和

拙い通信ですが今年も御愛読下さい。下記の文はベアテさんに有申し御礼と書かせて「声」の欄に掲載

2001年(平成13年)1月1日 月曜日 亥月 巳 楽新 聞

ミニコミ通し
平和の尊さを

臨床検査技師

樋口 みな子

(北海道江別市 51歳)

二〇〇〇年も後わずかという時に、日本国憲法草案の人權条項を二十一歳の時に書き、男女平等のために闘ったアメリカのベアテ・シロタ・ゴードンさんにインタビューする機会がありました。私も子育てとの両立に悩みながら、今まで仕事を続けてきました。憲法を変えようとする動きに「平和憲法は世界に誇れるもの。特に命を生み育てる女性は平和を切望しています」と、女性が声を出していくことの大切さを話されたのが、印象的でした。

私はさやかですが、自然保護と平和の尊さを伝える手書きのミニコミ「銀河通信」を発行して十二年になります。読者は百二十人。インターネットが普及している時代に「今どき手書きなの？」と驚かれる方もいますが、様々な活動を伝える写真も入れ、見出しも工夫して編集しています。たくさんの人に読んでいただくことは出来ませんが、手から手への作り手の思いが伝わるような気がします。

自然・人權

を

全国各地の市民運動の仲間や友人に郵送していますが、読んでの感想や近況を知らせる便りがたくさん届き、温かい気持ちになります。「あなたの大切なことを続けて下さい」のベアテさんの言葉に励まされて、心に届く通信を新世紀も書き続けていきたいと思えます。

2000. 9. 17
知里幸徳展で
登別市



守る